

令和3年6月18日  
庶務課

### 学校施設の収容対策について

現在、収容対策が決定している学校(●)と、今後の児童・生徒数推計から対策が必要と見込まれる学校(\*)の状況は以下のとおりである。

令和3年5月1日現在

学校名	収容対策	利用可能教室数	最大使用教室数 [推計値]	収容対策
明治小学校	*	30	32	令和8年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
深川小学校	*	14	16	令和8年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
越中島小学校	*	20	24	令和6年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
数矢小学校	●	24	29	令和4年度に増築棟の供用を開始し、収容対策を図る。
川南小学校	*	16	17	令和5年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
扇橋小学校	*	24	27	令和7年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
元加賀小学校	*	24	25	令和7年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
毛利小学校	*	12	18	令和5年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
豊洲西小学校	*	36	42	令和5年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
東雲小学校	*	33	27	今後も児童数の増加が見込まれるため、所要の収容対策を検討する。
第二亀戸小学校	●	24	30	令和4年度に増築棟の供用を開始し、収容対策を図る。
第一大島小学校	*	18	22	令和7年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
第三砂町小学校	*	21	23	令和6年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
第五砂町小学校	*	24	29	令和6年度に必要教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。

学校名	収容 対策	利用可能 教室数	最大使用 教室数 [推計値]	収 容 対 策
深川第五中学校	*	17	19	令和7年度に必要な教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
砂町中学校	*	12	13	令和7年度に必要な教室数が利用可能教室数を超える見込みのため、教室の改修等について検討する。
有明西学園(前期)	*	24	36	前期課程については、令和3年度の使用教室数が利用可能教室数を超えているが、後期課程との合計では充足している。

注1) 教室数は、特別支援学級を除く。

注2) 最大使用教室数とは、令和9年度までに児童・生徒推計により必要とされる最大の教室数のこと(毎年度見直しを行う)。

注3) 各校記載の収容対策は現時点の見込みであり、実施に当たっては児童・生徒数の推移を注視し適切に対応する。

## 江東区マンション建設計画の事前届出等に関する条例第10条 に定める施設状況の公表について

### 【小学校】

#### 1. 児童数

令和3年5月1日現在の児童数（学校基本調査）のうち、特別支援学級の児童数を除いた数

#### 2. クラス数

令和3年5月1日現在のクラス数（学校基本調査）のうち、特別支援学級のクラス数を除いた数

#### 3. 最大使用教室数（推計値）

（1）令和3年5月1日現在の児童数

（2）令和3年5月1日現在の住民基本台帳人口のうち、通学区域内における今後入学予定の0歳～5歳までの幼児数から過去の平均入学率により算出した各年度の新1年生の児童数

（3）現在建設中のマンション及び事前相談中または事前協議済みの住宅計画から見込まれる児童数

上記の（1）～（3）の児童数を学年進行させ、令和3～9年度までの児童数及びクラス数を推計し、令和9年度までに最大で必要とされる普通教室の数

#### 4. 利用可能教室数

学級として使用している教室と普通教室としての形態を残したまま、他の目的に使用している教室数（一部改修工事を行うことによって、普通教室に転用可能な教室）

#### 5. 受入状況

児童推計により、児童数及びクラス数並びに今後のマンション開発計画等を勘案すると、収容対策が必要と見込まれる小学校について「\*」で表示した。

※ 表示された学校以外でも、大規模な住宅建設に対しては、収容対策が必要となる場合がある。

# 小 学 校 の 状 況

令和3年5月1日現在

	学 校 名	児 童 数	ク ラ ス 数	最大使用教室数[推計値]	利用可能教室数	受入状況	備 考
1	明 治 小	919	26	32	30	*	普通教室への改修等を検討
2	深 川 小	368	12	16	14	*	普通教室への改修等を検討
3	八 名 川 小	351	12	13	14		
4	臨 海 小	323	12	13	18		
5	越 中 島 小	538	18	24	20	*	普通教室への改修等を検討
6	数 矢 小	707	21	29	24	●	令和4年度に増築を実施
7	平 久 小	562	18	22	25		
8	東 陽 小	583	18	23	24		
9	南 陽 小	830	26	32	32		
10	川 南 小	432	14	17	16	*	普通教室への改修等を検討
11	扇 橋 小	565	18	27	24	*	普通教室への改修等を検討
12	元加賀小	735	21	25	24	*	普通教室への改修等を検討
13	毛 利 小	337	12	18	12	*	普通教室への改修等を検討
14	東 川 小	353	13	17	18		
15	豊 洲 小	950	29	29	30		
16	豊洲西小	913	27	42	36	*	普通教室への改修等を検討
17	豊洲北小	1,023	30	32	40		
18	東 雲 小	888	25	27	33	*	所要の収容対策を検討
19	有 明 小	418	14	29	30		
20	枝 川 小	777	24	28	30		
21	辰 巳 小	323	12	12	16		
22	第二辰巳小	792	24	30	30		
23	第一亀戸小	608	17	24	24		
24	第二亀戸小	645	21	30	24	●	令和4年度に増築を実施
25	香 取 小	220	8	10	12		
26	浅間堅川小	854	26	26	30		
27	水 神 小	299	11	12	13		
28	第一大島小	519	17	22	18	*	普通教室への改修等を検討
29	第二大島小	342	11	17	17		
30	第三大島小	534	16	17	24		
31	第四大島小	451	14	18	20		
32	第五大島小	330	12	12	18		
33	大島南央小	251	10	12	12		
34	砂 町 小	483	16	16	21		
35	第二砂町小	588	18	20	23		
36	第三砂町小	559	17	23	21	*	普通教室への改修等を検討
37	第四砂町小	599	19	19	20		
38	第五砂町小	710	21	29	24	*	普通教室への改修等を検討
39	第六砂町小	246	10	12	14		
40	第七砂町小	505	16	17	24		
41	小名木川小	304	11	12	21		
42	東 砂 小	280	12	12	17		
43	北 砂 小	452	15	16	18		
44	南 砂 小	395	12	16	18		
45	亀 高 小	341	12	13	17		
	<b>計</b>	<b>24,202</b>	<b>768</b>	<b>942</b>	<b>990</b>		

注1)児童数、クラス数及び教室数は、特別支援学級を除く。

注2)最大使用教室数とは、令和9年度までに児童推計により必要とされる最大の教室数のこと(毎年度見直しを行う)。

注3)受入状況欄の「●」は収容対策が決定している小学校。「\*」は、児童推計等により収容対策が必要と見込まれる小学校。

## 【中学校】

### 1. 生徒数

令和3年5月1日現在の生徒数（学校基本調査）のうち、特別支援学級の生徒数を除いた数

### 2. クラス数

令和3年5月1日現在のクラス数（学校基本調査）のうち、特別支援学級のクラス数を除いた数

### 3. 最大使用教室数（推計値）

- (1) 令和3年5月1日現在の生徒数
- (2) 令和3年5月1日現在の住民基本台帳人口のうち、通学区域内における今後入学予定の6歳～11歳までの児童数から過去の平均入学率により算出した各年度の新1年生の生徒数
- (3) 現在建設中のマンション及び事前相談中または事前協議済みの住宅計画から見込まれる生徒数

上記の(1)～(3)の生徒数を学年進行させ、令和3～9年度までの生徒数及びクラス数を推計し、令和9年度までに最大で必要とされる普通教室の数

### 4. 利用可能教室数

学級として使用している教室と普通教室としての形態を残したまま、他の目的に使用している教室数（一部改修工事を行うことによって、普通教室に転用可能な教室）

### 5. 受入状況

生徒推計により、生徒数及びクラス数並びに今後のマンション開発計画等を勘案すると、収容対策が必要と見込まれる中学校について「\*」で表示した。

※ 表示された学校以外でも、大規模な住宅建設に対しては、収容対策が必要となる場合がある。

# 中学校の状況

令和3年5月1日現在

	学校名	生徒数	クラス数	最大使用教室数[推計値]	利用可能教室数	受入状況	備考
1	深川第一中	180	6	6	8		
2	深川第二中	379	11	14	20		
3	深川第三中	610	17	18	18		
4	深川第四中	509	15	19	19		
5	深川第五中	537	16	19	17	*	普通教室への改修等を検討
6	深川第六中	274	8	10	10		
7	深川第七中	201	6	9	10		
8	深川第八中	441	12	13	14		
9	有明中	363	10	17	18		
10	辰巳中	177	6	7	11		
11	東陽中	259	8	10	17		
12	亀戸中	538	15	16	17		
13	第二亀戸中	260	7	9	9		
14	第三亀戸中	363	11	12	17		
15	大島中	326	9	10	13		
16	第二大島中	167	6	10	17		
17	大島西中	402	12	15	18		
18	砂町中	390	12	13	12	*	普通教室への改修等を検討
19	第二砂町中	493	14	16	18		
20	第三砂町中	417	12	12	18		
21	第四砂町中	171	6	6	20		
22	南砂中	70	3	5	14		
23	第二南砂中	475	14	16	18		
	計	8,002	236	282	353		

注1) 生徒数、クラス数及び教室数は、特別支援学級を除く。

注2) 最大使用教室数とは、令和9年度までに生徒推計により必要とされる最大の教室数のこと(毎年度見直しを行う)。

注3) 受入状況欄の「●」は収容対策が決定している中学校。「\*」は、生徒推計等により収容対策が必要と見込まれる中学校。

## 【義務教育学校】

### 1. 児童・生徒数

令和3年5月1日現在の児童・生徒数（学校基本調査）のうち、特別支援学級の児童・生徒数を除いた数

### 2. クラス数

令和3年5月1日現在のクラス数（学校基本調査）のうち、特別支援学級のクラス数を除いた数

### 3. 最大使用教室数（推計値）

(1) 令和3年5月1日現在の児童・生徒数

(2) 令和3年5月1日現在の住民基本台帳人口のうち、前期課程については通学区域内における今後入学予定の0歳～5歳までの幼児数、後期課程については通学区域内における今後入学予定の6歳～11歳までの児童数から過去の平均入学率により算出した各年度の新1年生および新7年生の児童・生徒数

(3) 現在建設中のマンション及び事前相談中または事前協議済みの住宅計画から見込まれる児童・生徒数

上記の(1)～(3)の児童・生徒数を学年進行させ、令和3～9年度までの児童・生徒数及びクラス数を推計し、令和9年度までに最大で必要とされる普通教室の数

### 4. 利用可能教室数

学級として使用している教室と普通教室としての形態を残したまま、他の目的に使用している教室数（一部改修工事を行うことによって、普通教室に転用可能な教室）

### 5. 受入状況

児童・生徒推計により、児童・生徒数及びクラス数並びに今後のマンション開発計画等を勘案すると、収容対策が必要と見込まれる学校について「\*」で表示した。

## 義務教育学校の状況

令和3年5月1日現在

	学校名	児童数	クラス数	最大使用教室数[推計値]	利用可能教室数	受入状況	備考
1	有明西学園 (前期)	927	27	36	24	*	後期課程との合計で充足
	計	927	27	36	24		

	学校名	生徒数	クラス数	最大使用教室数[推計値]	利用可能教室数	受入状況	備考
1	有明西学園 (後期)	225	7	17	24		
	計	225	7	17	24		

注1) 児童・生徒数、クラス数及び教室数は、特別支援学級を除く。

注2) 最大使用教室数とは、令和9年度までに児童・生徒推計により必要とされる最大の教室数のこと(毎年度見直しを行う)。

注3) 受入状況欄の「●」は収容対策が決定している学校。「\*」は、児童・生徒推計等により収容対策が必要と見込まれる学校。